

吟剣詩箱

g i n k e n s h i b u

剣詩舞宗家に聞く
和歌を舞う
むずかしさこと
楽しさ

表紙の詩

絶句 杜甫

両箇の黄鸝翠柳に鳴き

一行の白鷺青天に上る

窓に含む西嶺千秋の雪

門に泊す東呉万里の船

2

令和5年
如月



詩吟伯峯流創立35周年記念

二代目宗家会長襲名披露の祝賀会を終えて

山田伯峯(詩吟伯峯流伯峯会)



令和4年10月8日、伯峯流の本部が或る井の頭公園の近く、吉祥寺の東急REIホテル「むさしの」において、詩吟伯峯流の祝賀会を開催致しました。秋の長雨で天気が気になりましたが、当日は嘘のように太陽が輝いてくれました。

会場には、豪華な色とりどりのお祝いのお花が、ずらりと並べられています。今日の祝賀会の為に、東日本地区連の清水錦洲議長をはじめ、都総連の毛塚静精理事長、北多摩一区連の連代麗理理事長、他20数名の先生方が出席して下さいました。8歳から92歳の会員が揃い、大会実行副委員長の開会のことばの後、会員による伯峯流伯峯会の会詩を合吟致しました。続いて今春、北とびあの全国合吟コンクールで詠った「武野の晴月」を聞いて頂きました。

式典では、先生方より素晴らしいご祝辞を頂戴致しました。実に余る内容に感謝し、謙虚に気持ちを引き締めて精進して参る所存であります。またその場をお借りして35年以上在籍している会員に感謝状

の授与式を行い、恙なく終了することが出来ました。

初代宗家山田伯峯は長崎県出身です。芸術的センスを持つ初代宗家の文字と篆刻を表紙にして、色鮮やかなプログラムを手作りしました。初代宗家が作った構成吟の中から、今回は「長崎物語」を披露することに致しました。異国情緒あふれる長崎の町の成り立ちと、キリスト教布教の悲話を盛り込んだ内容です。漢詩や律詩、短歌、俳句、新体詩を織り交ぜました。日本とジャカルタを特徴的な衣装で表現して、あでやかに悲しく舞う彩祐流・齋木彩染宗家、山田彩綺先生の詩舞。貿易港ならではの、珍しい品々に囲まれた雑多な空気感を忠実に表現した誠紀流・多嘉良誠翔先生の剣舞。尺八・箏伴奏のお力で「長崎物語」を引き立てて頂きました。

ご来賓の先生方の祝吟と祝剣舞は特に素晴らしく、会場に響き渡る音を耳にして終わった後も皆がその余韻に浸っておりました。二代目宗家の吟詠は智恵子抄から「風に乗る智恵子」を披露致しました。

これは以前、初代宗家と一緒に智恵子の実家である二本松市や静養地である九十九里浜を旅した思い出から詠わせて頂きました。

余興も岡田純明先生の尺八にまつわる大変興味深いお話と熱演、沖繩三線を教える会員の歌と演奏により会場の皆さまが心一つになる時間となりました。最後のビデオレターには、初代宗家が、現在財団の沼崎富会長のご尊父であられる翁流沼崎星翁初代宗家とのご縁に感謝し、詩吟に対する想いを綴った映像。そしてそれを引き継ぐ二代目宗家の決意が映し出されました。

ご来場いただいた皆様には、短い時間でしたがお楽しみ頂き、懐かしさに涙した印象に残る祝賀会だったというご感想をいただきました。



ukabisと振興会がコラボして

和歌シリーズ動画を公開!



吟詠
スーパーチームの
松葉朋実さんを
起用!



#1. 瓜食めば(山上憶良)

瓜食めば子ども思ほゆ
栗食めばまして徳はゆ
いづくより来りしものそ
目交にもとなかかりて
安眠しなさぬ



QRコードから視聴



#2. 秋の田の(天智天皇)

秋の田のかりほの庵の
苫をあらみ
我が衣手は露に濡れつつ



QRコードから視聴



#3. いくたびか(長塚節)

幾度か雨にもいでて苺つむ
母がおよびは爪紅をせり



QRコードから視聴

ukabis公式サイト
<http://www.ukabis.com/>

当振興会の公式YOUTUBEチャンネルは、登録者数1万人、再生回数が500万回に迫るほどの活況を呈しています。こうした流れに呼応し、振興会では、ukabisとコラボした和歌動画制作を行いました。ukabisは、内閣府の推進するSIP(戦略的イノベーションプログラム)の一環であるスマートフードチェーンプラットフォームです。和歌に込められた収穫や実りに対する心象表現が、「食のサステナビリティ(持続可能性)」の実現を目指すukabisにも共通する想いであることから、「ukabis和歌シリーズ」が実現しました。

今回のコラボ企画で起用された吟詠スーパーチームの松葉朋実さんは、「和歌は、あまり詠ったことがなかったのですが、ukabis和歌シリーズに参加させていただいたことで、少し慣れてきたかと思います。今までやってきた漢詩吟詠とは違いますが、共通するところもあって、だんだん詠うのが楽しくなってきました」と語っています。ukabisの広報動画のナビゲーターとしても松葉さんが活躍しています。

「ukabis 和歌シリーズ」の#1「瓜はめば」は、瓜にちなみ、日本の誇るメロンのブランド「クラウンメロン」の産地・静岡県袋井市で撮影し、松葉さんが朗詠しました。メロンにちなみ、「瓜食めば」を松葉さんが朗詠しました。また、袋井市に広がる美しい田園風景を背景に#2の「秋の田の」を撮影しました。そして#3である「いくたびか」は、高級ブランド苺の産地である佐賀県白石町で撮影しました。「いくたびか」は、長塚節の作品で、「苺」を主題とした和歌です。病気がちであった息子のために雨の日でも野苺を積む母の指先は爪紅のように赤く染まってしまった…という母の愛情が切なく感じられる詩です。

振興会では和歌朗詠のさらなる普及を目指しており、今回のコラボについても、今後も積極的にサポートしていく予定です。(鈴木吟亮)

広島県吟剣詩舞道総連盟 創立40周年記念祝賀の集い 沼崎会長をお迎えして、56会派221名が参加

森岡盟山(広島県吟剣詩舞道総連盟副理事長)



令和4年11月3日ホテルグランピア広島におきまして、公財本部より沼崎富会長、池内賢二専務理事、事務局の大塚政暢様をお迎えし、『広島県吟剣詩舞道総連盟創立40周年祝賀の集い』が盛大に開催されました。

参加者は加盟56会派、総数221名の盛大な開催となりました。

第1部式典では県総連大本翠山会長、楠部齋山理事長両名の

挨拶に始まり、沼崎富会長からお祝辞をいただきました。

続いて第2部全国コンクール優勝者による祝吟舞披露、少壮吟士による吟詠披露があり、その後第3部の祝宴となりました。祝宴では県総連山本賀陽特別顧問の乾杯の音頭の後、安来節保存会濱崎正人先生、濱崎未朋先生による民謡特別公演鑑賞など、有意義な和気あいあいとした時間を過ごすこと

なりました。

最後に県総連藤岡鶴伯常任顧問による万歳三唱ならぬ一丁締めで、出席者全員が一本の輪となり、皆元気で次回50周年大会への元氣な参加を誓ってお開きとなりました。

少子高齢化、趣味の多様化等により当広島県総連会員数も減少の傾向ではありますが、次回50周年大会に向け頑張っております。



中国地区連絡協議会主催「剣詩舞研修会」 多田正稔先生講師「美しい剣詩舞を目指して」

浮津虔山(中国地区連絡協議会書記局長)



令和4年11月23日、広島大学学生会館において正義流詩舞同好会家元、多田正稔先生を講師にお迎えし、中国地区連絡協議会主催「剣詩舞研修会」を剣詩舞道にいそむ一般会員130名の参加をいただき開催いたしました。

講義内容は3部構成とし、「美しい剣詩舞を目指して」と題して、

剣詩舞における基本動作また演舞作品の漢詩や和歌の内容の理解により人物、風景、感情の表現について。扇、刀の使い方、とても難しいと思われる「間」についても先生のお国言葉を交えながら丁寧にお話しいただき、講習生一同感じ入りました。

講習会後半のモデル演舞者による実技指導では、座学で学んだことを繰り返し指導下さり、解り

やすく楽しい一日があったという間に過ぎました。先生の講義は、吟詠を志す者にとっても剣詩舞研修会で大いに参考とすべきことをあらためて感じたお話しでした。

最後に先生の範舞を2題鑑賞させていただき、剣詩舞の神髄はここにありと一同大感激拍手喝采の内に閉講いたしました。多田正稔先生本当にありがとうございました。



人と人を繋ぐ絆の大会 菊水流剣詩舞道60周年記念全国大会『絆』

今脇萌山(菊水流剣詩舞道)



令和4年10月9日(日)、倉敷市民会館大ホールに於いて、菊水流剣詩舞道60周年記念全国大会『絆』を開催。県内はもとより県外からも多数のお客様に観賞していただきました。財団の沼崎富会長にご来賓賜り、御祝吟も頂戴いたしましたことは光栄に存じます。

菊水流会員一同、「60周年」を合言葉に準備を進め、猛暑にも負けず稽古に勤しみ、当日を迎えました。

3歳児を含む幼少年会員の剣舞、詩舞では激励の拍手を、90歳を超える会員の舞では温かい拍手を、菊水の未来を担う青年会員の剣舞、詩舞には期待の拍手をいただきました。

菊水流家元、藤上南山先生の生涯テーマは「ふるさと岡山」。岡

山に関する民話の伝承を探求した創作舞「藤上南山作品集」より、「円通寺と良寛さん」を幼少年の群舞で披露。良寛和尚が童と手毬で遊ぶ姿が目浮かぶ子供たちの愛らしさに観客も思わずほっこり。日本を代表する吟剣詩舞界の名流、名士の先生方による心に沁みる吟と舞は観客に吟剣詩舞の奥深さを堪能していただきました。

メインテーマは「平家物語」。壮大な歴史ドラマの数々を、家元の新作5題も含めて披露。壮烈な源平合戦の最中でも、ほっと一息、興ずる余裕も味わえる「扇の的」。功名心から敵の本陣に突き進む若武者が、風流にも梅の小枝を簞に挿して華々しく戦う「花簞」では、菊水の明日を担う若人たちの

息の合った群舞に拍手喝采!

平清盛の全盛期、海上守護神として崇拝した厳島神社へ詣でるため、水路険しい「音戸の瀬戸」の開削工事を行い、沈みかけた日輪をも扇で引き返したという話をモチーフにした、家元新作「瀬戸内清盛追慕」を、総勢17人による群舞で披露。

漁夫に浅瀬の場所を聞き、口封じのために殺害し、先陣の功を成した源氏の武将、佐々木盛綱に息子を亡くした母親が半狂乱になって迫る「藤戸」は家元が編み出した『吟語り』の原点ともなった作品です。菊水流にとって古典ともなる作品と新作との融合で60年の軌跡をたどるにふさわしい構成でした。

バラエティーに富んだ演目の数々は、家元の創作の幅広さと奥深さ、そして尽きることない創作意欲の実証であり、観るものを南山ワールドへと誘いました。

60周年記念大会のサブタイトルは『絆』。家元が60年にわたり築いた県内外の先生方との『絆』、応援して下さるファンの方々との『絆』、そして未来に向かって菊水を繋ぐ、宗家・翔山先生と次代を担うご長女との『絆』、まさに絆を繋いだ記念大会でありました。



九 州 地 区 連 協

長崎県吟剣詩舞道総連盟結成45周年記念吟剣詩舞道祭 園田裕史大村市長が吟詠を披露

平野岳晴(長崎県吟剣詩舞道総連盟広報協力委員)



令和4年11月20日(日)、大村市のシーハットおおむら さくらホールで、園田裕史大村市長、九連協の河野鶴聲幹事長、八代光晃子書記長、各県総連理事長の先生方ご出席のもと長崎県総連結成45周年記念祭が開催されました。

藤本誠堂長崎県理事長挨拶のあと、園田市長のご祝辞では「当地は競艇発祥の地であり、明日は、日本財団の笹川陽平会長の講演会を予定しています。換気は徹底しているので、思い切り披露して下さい。」との激励とともに、絶句「古

を詠ず」の一節を吟じられました。河野鶴聲先生からは「是非これからも詩吟を続けてください」とのエールを送られ、和やかなムードのなか会場からは万雷の拍手が送られました。

少年少女、会員による吟詠、剣詩舞のあと、全国大会出場者吟詠と剣舞、少壮吟士吟詠につづき、構成吟「日本人の文化と歴史を詠う」では各団体代表による吟剣詩舞で会場は熱気にあふれました。役員吟詠のあと、来賓吟詠では各先生方の格調高い名吟を拝聴し感動のなか記念大会を終了しました。

近 畿 地 区 連 協

大阪府吟剣詩舞道総連盟「吟詠研修会」

豪華な講師陣による1人20分の実技演習

市政亥城(近畿地区連絡協議会広報委員)



令和4年11月5日(土)大阪府吟剣詩舞道総連盟主催、令和4年度第4回「吟詠研修会」が此花会館梅香殿大ホールにて、コロナ感染対策を十分に取り、約250名の参加で開催されました。

横山寿城大阪府吟剣詩舞道総連盟会長、山口華雫大阪府吟剣詩舞道総連盟理事長の挨拶

の後、第2回から実施している吟詠鑑賞では日本国風流詩歌吟詠会を創設された、松本国風先生の「千曲川旅情の歌」を鑑賞した後、実技演習に移りました。

第4回目の実技演習は恒例の会長・理事長・講習で、モデル吟者も申し込み多数でその中から7

名の方が選ばれ、講師陣も会長・横山寿城、理事長・山口華雫、副理事長・中山岳襄、少壮OB・松野春秀、少壮OB・田畑水姫、少壮OB・伏尾琵琶城と豪華な先生方が講習を担われました。

1人20分の予定で始まりましたが、各先生方も時間を忘れるほど熱心に指導され、制限時間を大きく上回る時間超過でしたが会場の熱気はそれを上回っていました。参考吟詠に移り、少壮吟士・巽吟城、少壮吟士・尾崎水紅両先生の吟を聞き、副理事長・松藤岳頌先生の閉会の辞で、受講者の皆様は来年度の開催を楽しみに会場をあとにしました。

中 部 地 区 連 協

7歳から87歳まで、幅広い年齢層が参加 第24回石川県吟剣詩舞道祭

前山紫峰(石川県吟剣詩舞道総連盟)



去る11月20日(日)、石川県女性センターにおいて「第24回石川県吟剣詩舞道祭」が3年ぶりに開催されました。コロナの感染対策を徹底し、出演者、観客の安全を第一に考えながらの開催でありました。

第一部は令和4年度全国吟詠

コンクール中部地区大会出場者の吟詠、続いて第二部では全国剣詩舞コンクール中部地区大会出場者の演舞を披露。その後第三部は1組5人編成による合吟コンクールを開催いたしました。県内7流派から27組の参加があり、9名の審査委員により伝統文化の

真髄である気品、詩情、迫力などを基準として厳正に審査された結果、石川県知事賞は石川吟詠会「竹田世津子ほか」チームが受賞いたしました。第四部では、各流派の宗家、会長など会員による熱気のコもった吟詠、剣詩舞が披露され、観客の皆さんにはコロナ禍でもあり、歓声は控えていただき、大きな拍手を沢山いただきました。

出演者は7歳から87歳まで幅広い年齢層であり、次の世代を担う若者から伝統文化を牽引してきたベテランの指導者が一同に集い、成功裏に終了いたしました。

近 畿 地 区 連 協

滋賀県吟剣詩舞道総連盟45周年・滋賀県詩吟連盟60周年記念祝賀大会 祝賀懇親会で今後の活動を誓い合う

林 龍山(滋賀県吟剣詩舞道総連盟事務局長)



令和4年10月23日(日)、近江八幡市男女共同参画センターにて、滋賀県の記念祝賀大会を開催しました。加盟流派30団体の協力で、「出吟者数の制限」「客席を空ける」「昼食は懇談禁止」等のコロナ対策を十分に取ることができました。

午前中は会員の合吟、群舞。午後は優秀者吟剣詩舞、式典、構成吟です。式典では滋賀県知事や近江八幡市長、近畿地区の各府県総連理事長らのご列席を得て、永年会員の中から表彰状

41名、功労賞21名、感謝状10名、吟功章7名が鉤正賢理事長より表彰状を手渡されました。

構成吟は「湖国の古へ物語」と題し、大和時代から江戸時代までをたどる歴史絵巻の1時間で、フィナーレは当連盟の中谷将鳳常任顧問のオリジナル曲「花舟遊」の吟詠歌謡で華やかに幕を閉じました。閉会後は場所を移し

てホテルで祝賀懇親会を行い、今後の活動を誓って盛会のうち

に終宴しました。さて、当連盟では往時2千数百人いた会員が、現在ではその半数以下になっています。会員増加の特効薬はありませんが、私たちの愛するこの吟剣詩舞を次代に継承するためにも今後ますます頑張っていく所存です。



福岡県吟剣詩舞道総連盟結成45周年記念吟剣詩舞道大会

心を込めて作り上げた舞台に拍手喝采

熊谷栄亮(福岡県吟剣詩舞道総連盟広報協力委員)



「穏やかな季節となりました。」福岡県総連河野鶴聲理事長の言葉通り、好天に恵まれた11月27日、

福岡県総連結成45周年記念大会が、筑紫野市文化会館にて開催されました。福岡県知事、筑紫

野市長、福岡県文化団体連合会会長、日本吟剣詩舞振興会沼崎富会長、九州地区連絡協議会藤本誠堂議長よりご祝辞をいただき、また九州各県総連理事長にご臨席を賜り、コロナ感染防止対策を講じた上の大会となりました。

迫力ある息の合った合吟、各種コンクール成績優秀者による吟詠・剣詩舞、福岡県出身の漢詩家であり、我が国の至宝、松口月城先生を偲ぶ構成番組と、心を込めて作り上げた舞台は拍手喝采の連続でした。

静岡県吟剣詩舞道総連盟45周年記念大会

地元ゆかりの構成番組で一致団結

見城星舟(静岡県吟剣詩舞道総連盟事務局長)



令和4年11月6日、5年に一度の記念大会を静岡市民文化会館にて開催しました。

盛り沢山の漢詩や和歌の吟剣

詩舞で始まり、式典では静岡市長、日本吟剣詩舞振興会沼崎富会長、中部地区連協大伊達不朽議長よりご祝辞をいただき、吟剣詩舞発展

に功績、功労者6名を表彰しました。郷土の風物詩を吟と舞で楽しみ、ご来賓の素晴らしい吟詠と剣詩舞。構成番組は「富士の国のものふ」～江間小四郎義時～と題し、地元ゆかりの北条義時を照明、吟、舞、語り、音響を駆使しエンディング「富士山を詠ず」の大合吟と舞で心一つになり、コロナ感染防止のため市松模様の客席一杯に座られた観衆を魅しました。

貴方の華麗な技を、衣裳でサポート……

袴(御仕立上り) ¥36,000～

紋付(御仕立上り) ¥25,000～

角帯 ¥8,000～

- ・御希望の寸法、型式に御仕立いたします。
- ・御気軽にお問い合わせください。
- ・オリジナルカタログをお送りいたします。

◎廣部商事株式会社

〒604-0024
京都市中京区衣櫛通御地上ル
電話(075)221-8525(代)
FAX(075)221-8526

<http://www.hirobe-shoji.co.jp>

ひろべ商事 | ウェブ検索

吟剣詩舞用
袴・紋付・特装衣裳
角帯・留置品